

夏山のたより

冷夏となつてしまいちょっと残念な今年の夏である。ここで私にとり唯一の夏山となった安達太良方面登山（ハイキング）の想いを記してみようと思う。時はちよっぴり前にさかのぼってしまうので、あえて'82サマーとして解して欲しい。

メンバー構成は同課渡辺氏とその仲間達総勢8人で、行先は福島県安達太良山である。前夜は沼尻温泉郷の一角に存る田村屋旅館に泊った。さて気になるのが翌日の天候だ。翌朝起床して空を見上げると曇り空ながら雨の心配はなさそうな様相であった。私達は宿に別れを告げ最初ちよっぴりの間車で行くことにした。数分後目前にスキー場が開けてきた。冬は白銀の世界の中多くのスキーヤー達で賑いを見せ盛況を誇るこの地も今は草木が生い茂り遠方より眺めるとグリーンのジュータンを敷き詰めたようだ。そこからは、まるで冬の自然の厳しさやスキーヤーの歓声など思いもよらず閑静の地と化している。

ただリフトの塔だけが印象的である。

さてスキー場そばからいよいよスタートだ。皆元気いっぱいなので少々坂も苦みならず、楽しげに登って行く。20分も経った頃小高い山の尾根にさしかかった。眼下かなり下方には細長い滝が見えてきた。ここで一息入れればし休んだ。この尾根づたいにしばらく歩き下りにさしかか



安達太良山山頂にて

頃、周辺から異様な臭いが鼻をかすめた。イオウ特有の臭いである。沼尻温泉の源泉である。小川の脇から白蒸気と共に勢いよく湧出している。木製の凹型のといが下流に向け延々と走っている。その中を源泉は耐えることなく流れ続けている。ちよっぴと素手で触れてみる。熱い!!相当な高温である。そう言えば昨夜入った湯もここから、そう思う時この大自然の現象を最大限かつ効率的に活用している人間の知恵と営みがひしひしと感じとれる。ここから先は除々に岩はだかあらわになってきた。しばらく登りつめた時登山道の横に素敵なた花達が私達の心をいやすかの如く咲き誇っていた。さっそくスナップを撮る。その名はイワカガミでありピンク色のそれは、なんとも可愛らしい。このイワカガミは、日本各地の高山（比較的低い岩場などにも自生する）に広く分布しており代表的な花である。また周

囲の山々にはナナカマドの木々が白い花をつけていた。御存知の方も多いかと思うがこの木は質が硬くかまどに7回入れても燃えにくい所に由来している。以前ある先輩に「あなたはナナカマドね」と言われた事を回想した。このことばなぜか今でも私自身の内面に生きつづけているようだ。早く懐しいジョークとして空の彼方へ返上させたいものだ。スタートして約1時間やと朝食にありついた。平常と違い特にエネルギーの消耗が激しいため、旅館より作って貰ったおむすび3個、あつという間にたいらげてしまった。これで皆活々、さあ一前進だ。しばらく岩場をぬいながら進むと途端に広大な平地に出た。細かな礫を敷きつめたこの平原をザクザク足音をたて横一列に並び歩きつづける。私は列から駆け出し前方へ、そこで半回転しシャッターを切る。なぜかキーハンターの一シーンの再現的情景を創ったかのように錯覚さえ感じてしまった。ここを過ぎると道は

さらに岩場となっていたが、私達はめげずに登る。自然と人間との戦いである。全コースの3分の2位来た所であろうか右側前方にめざす安達太良山頂が雲間に見えてきた。高山特有のガスが下方より山はだを這うように吹き上げ、私達汗だくの膚を心快くひんやりとかすめていく。

スタートして3時間余りの時を要し頂上に到達した。標高1700メートル安達太良山頂

である。なぜか今まで張りつめていた緊張感がほぐれ、湯水の湖が水を漫々と得たように心身共に充足感を覚えた。ここで記念撮影をしたり、のどを潤したり、しばらくの休憩をとった。さて山頂に別れを告げ足どりも軽く下山へと向った。下りも上りに劣らぬきつものだ。足場が悪い所は特に気を付けなくてはならない。でもさすが皆若いからして速い。或る仲間の1人(若きレディー)などは、ゆるやかな傾斜面に出た途端、さっそうと走り出したではないか。自然に勝っている素晴らしい姿だ。しばらく歩き続け無事到着。

皆さんもこのような身近にある自然いっぱい山々に接ってみてはいかがでしょうか。そうそう先程先頭を切って駆け下りてきた女の子、足に大きな豆を作ってしきりに痛い痛いの連発!!しかし、表情は微笑し、その痛さが嘘のように頬には夏の汗が輝いていた。(統計課・谷田部久夫)

【新着資料案内】

この資料は、昭和57年7月中に行政資料室に到着した主なものです。ご利用下さい。

行政資料室 本庁舎地下1階 TEL 0292-21-8111(内線2668)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
中央官公庁関係		雇用保険業務概要	雇用保険課
住民基本台帳人口移動報告年報	総 理 府	京浜地域市場の概要と茨城県産青果物の出荷状況	東京農産流通指導センター
東南アジア諸国連合及び韓国統計便覧	〃	専門技術員現地調査研究成績書	改良普及課
欧州共同体(E.C)諸国統計便覧	〃	銘柄産地等育成指導者研修成果	〃
昭和53年 事業所統計調査に関する地域メッシュ統計地図	〃	就農青少年調査結果	〃
国民経済計算	経済企画庁	農村青少年クラブ名簿	〃
昭和57年版 国土統計要覧	国 土 庁	昭和55年・56年の異常気象並びに小貝川堤防決壊による農作物被害の実態と対策	〃
国際連合世界統計年鑑	国際連合統計局	新しい農業者の育成	〃
昭和57年度 学校基本調査速報	文 部 省	茨城県高能率養蚕地域整備基本方針	蚕 糸 課
国民栄養の現状	厚 生 省	茨 城 の 蚕 糸 業	〃
人口動態統計中巻	〃	霞ヶ浦地域森林計画書	林 政 課
昭和55年度産米及び麦類の生産費	農 林 水 産 省	あすの道路	道路建設課
昭和55年度 林家経済調査報告	〃	昭和55年度 決算に関する付属書類	出納第一課
昭和55年 畜産物生産費調査報告	〃	昭和55年度 茨城県歳入歳出決算書	〃
昭和56年 牛乳乳製品統計	〃	昭和55年度 公共用水域の水質測定結果	企 業 局
いばらきの農業生産所得	関東農政局 茨城統計情報事務所	茨 城 県 企 業 局 水 質 年 報	〃
貿易業態統計表	通 商 産 業 省	新任保健主事研修会要項	教 育 委 員 会
鉱工業指数年報	〃	茨城県遺跡、古墳発掘調査報告書 III	〃
昭和56年 機械統計年報	〃	交 通 白 書	県 警 本 部
東関東地域軸状開発計画調査研究報告書	〃	茨 城 の 犯 罪	〃
鉱 業 便 覧	資源エネルギー庁	県内市町村関係	
昭和57年度 都市交通年報	運 輸 省	水戸市公設卸売市場年報	水 戸 市
労働統計要覧	労 働 省	日立市の統計	日 立 市
昭和56年 毎月勤労統計調査特別調査報告	〃	ひたち市勢要覧	〃
地方財政統計年報	自 治 省	昭和54年度 市民所得	北 茨 城 市
茨城県関係		きたいばらき	〃
原子力施設海洋影響調査報告書	環 境 局	市民所得	〃
職員の厚生福利概要	職 員 課	きたうら村勢要覧	北 浦 村
生活保護統計年報	社 会 福 祉 課	都道府県関係	
社会福祉施設等一覧	〃	昭和55年 山形県統計年鑑	山 形 県 統 計 課
昭和57年度版 業務概要	中央・土浦・下館児童相談所	群馬県事業所名鑑	群 馬 県 統 計 課
中小企業団体名簿	商 工 指 導 課	昭和56年 静岡県経済指標	静 岡 県 統 計 課
茨城観光レクリエーション現況	観 光 物 産 課	京都府における地域分析特別集計結果報告書	京 都 府 統 計 課
		昭和56年 島根県鉱工業生産指数	島 根 県 統 計 課

